

登録コード	E7113300	開講年度	2026			
授業科目	教育哲学演習				担当教員	高柳 充利
英文授業名	Seminar for Philosophy of Education II				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・5時限	対象学生
講義室	教育N319	授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観について自分なりに考えを深めることができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能について自分なりに考えを深めることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	1. 教育哲学に関わる文献の大意をより適切に把握することができる。 2. 把握した大意をもとに自分なりの論をより適切に進めることができる。 3. 自らの論を教育哲学の研究手法をもとにより適切に表出することができる。					
(5)授業計画	第1回: ガイダンス・導入 第2回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第15章) 第3回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第16章) 第4回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第17章) 第5回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第18章) 第6回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第19章) 第7回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第20章) 第8回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第21章) 第9回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第22章) 第10回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第23章) 第11回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第24章) 第12回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第25章) 第13回: 文献講読(ジョン・デューイ『民主主義と教育』第26章) 第14回: 議論のまとめ 期末レポートの提出 受講者の関心や授業の展開等により順序や内容に変更が生じることがある。 第14回は授業アンケートの実施を含む。 教育実習における欠席分の補講については、欠席する回の担当教員に事前に申し出て指示を仰ぐこと。					
(6)成績評価の方法	成績評価は次のような事項を参考に行う予定であるが、受講の状況によって調整・最適化を図る場合もある。 ・教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観をもって(そして同時にそれらについて)、教育を哲学することを実践する発表1~2回程度(およそ40%) ・教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観をもって(そして同時にそれらについて)、教育を哲学することを実践する討議への参加15回(およそ20%) ・教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観をもって(そして同時にそれらについて)、教育を哲学することを実践する期末レポート(およそ40%) ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり,(ii) その問題の背景を説明できており,(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており,(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており,(v) その上で自分の見解を提示できており,かつ,教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	事前学習: 担当会の発表の準備。ならびに、授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもって観察・思索すること。 事後学習: 授業で扱われた事項について、生活のなかで読書や討議の機会をみつけ、思考を深めること。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。 従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	授業時間以外において各自の関心に基づき適宜学びを深めることが求められる。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・オフィスアワーの実施場所: N316, 曜日・時間(在室の時はいつでも)。連絡先(研究室電話番号: 026-238-4215, メールアドレス: takayana@shinshu-u.ac.jp)					
【教科書】	特になし					

【参考文献】	授業中に適宜示す。
--------	-----------